
第 20 回 町田市交通マスタープラン推進委員会 会議録

開催日時：2017 年 3 月 23 日（木）11 時 00 分～12 時 00 分

開催場所：町田市庁舎 2 階 2-2 会議室

出席委員：23 名

傍聴人：3 名

事務局：7 名

【会議次第】

1. 開会挨拶
 2. 議題
 3. その他
- *****

【議題】

1. 「町田市交通マスタープラン」及び「町田市都市・地域総合交通戦略」
における各施策の進捗状況について
 2. 多摩都市モノレール・小田急多摩線の延伸に向けた取り組み状況について
 3. 「町田市地域公共交通会議」での検討状況について
- *****

【資料】

「町田市交通マスタープラン」及び「町田市都市・地域総合交通戦略」における各施策の進捗
状況について：資料 1-1

2016 年度 町田市交通マスタープラン 各施策の進捗状況確認表：資料 1-2

多摩都市モノレール・小田急多摩線の延伸に向けた取り組み状況について：資料 2

「町田市地域公共交通会議」での検討状況について：資料 3

<開会挨拶>

省略

<議事>

1. 「町田市交通マスタープラン」及び「町田市都市・地域総合交通戦略」における各施策の
進捗状況について

[資料説明]

「町田市交通マスタープラン」及び「町田市都市・地域総合交通戦略」における各施策の
進捗状況について：資料 1-1

2016 年度 町田市交通マスタープラン 各施策の進捗状況確認表：資料 1-2

事務局による説明（省略）

[意見等]

(委員) 重点目標Ⅰ－４について、「町田市交通マスタープラン」76ページの今後の取り組みに記載のある、DRTや乗り合いタクシーといった小型公共交通の取組状況はどうなっているか。

(事務局) 小型公共交通の取組状況については、相原地区で、小型の車両を用いた定時定路線型交通の検討を実施している。当初は、デマンド交通（需要応答型交通）を検討していたが、予約のシステムや予約のオペレーターの人件費に多くの費用が掛かり、収支採算性を確保することが難しい状況であったため、定時定路線型交通を検討することとなった。

(委員長) 「町田市交通マスタープラン」の策定は2006年であることから、カーシェアリングなどの、当時はなかったが今は技術的に可能かもしれない技術というものを前提に置いた施策を展開していく必要があると感じる。

(委員(代理)) 重点目標Ⅱ－２の、共同集配施設の利用促進に記載のある、ぽっぽ町田の周知（PR）と利用促進について、2016年度の事業内容が進捗なしとのことだが、これは利用状況が以前と比較して変化していないという認識でよいか。また、荷捌き場所の受け皿の整備について、2016年度の事業内容で町田市中心市街地活性化協議会との打ち合わせを実施したとあるが、どのような内容の打ち合わせがされたのかを教えてください。

(委員) 以前、ぽっぽ町田のPRをした際には、利用登録業者が増え、現在では96社が登録している。ただし、96社全てが実際に利用しているかということは確認できていない。また、近年、商店街では飲食店舗が増加している状況であるため、飲食店に配送する荷捌き車両は増えているが、そのような荷捌き車両はぽっぽ町田を利用していないというのが現状である。

(事務局) 町田市中心市街地活性化協議会との打ち合わせでは、物流問題や駐車場附置義務に関連する隔地施策の打ち合わせを行った。ただし、これらの施策の展開までは行えていない現状である。

(委員) 「町田市交通マスタープラン」82ページにあるような鉄道駅周辺のバリアフリー化を促進などの進捗状況について、昨年度に施行された、障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律の内容も盛り込んで進捗管理をしていければよいと思う。

(事務局) バリアフリー基本構想については、町田市内の10地区で定めており、2017年度は玉川学園前駅周辺地区と南町田駅周辺地区の基本構想の見直しを進める予定である。現地の状況も確認をし、バリアフリーの対応が出来ているかもしっかりと確認をしながら見直しを進めていきたいと考えている。

(委員長) 2006年の策定から現在まで11年が経過しており、その間に新しい法律の施行などの新しいインプットがあったので、それらをまとめておいて欲しい。また、後日でも、施策の進捗状況について疑問に思った点があれば、事務局に問い合わせ頂ければと思う。

2. 多摩都市モノレール・小田急多摩線の延伸に向けた取組み状況について

[資料説明]

多摩都市モノレール・小田急多摩線の延伸に向けた取り組み状況について：資料2

事務局による説明（省略）

[意見等]

- (委員) 小田急多摩線延伸検討の報告書を読む限りでは、収支採算が厳しいと見ている。また、これから人口が減少していくと予想される中で、本当に延伸事業が進んでいくのかどうか疑問であると感じている。また、多摩都市モノレールの延伸については、検討の報告書を見たことが無いが、あるとすれば、どこに行けば閲覧することができるのか。
- (事務局) 多摩都市モノレール延伸検討については、東京都と協議をしながら進めており、現時点では分析資料等の公表は行っていない状況である。なお、交通政策審議会は答申を出すにあたり、多摩都市モノレール延伸に係る費用や収支採算性を記載したテクニカルレポートを公表している。このテクニカルレポートは国土交通省のホームページでも確認できる。
- (委員長) 小田急多摩線延伸検討について、収支採算性の向上方策などを今年度から関係者会議を設置して始めたとのことだが、そのプロセスなどは公開されるのか。
- (事務局) 現在は公開していない。今後、効果的な時期を計って、必要に応じて公開することを考えている。
- (委員長) 多摩都市モノレール延伸検討について、交通政策審議会で示された答申の中の課題には、導入空間となりうる道路整備が前提という記載があるが、その道路は既に都市計画決定等はされているのか。
- (事務局) 路線の線形はまだ決まっていないが、想定している線形の中では、2km程度にわたり道路計画が無い部分があり、その部分の線形について東京都と協議をしている段階である。

3. 「町田市地域公共交通会議」での検討状況について

[資料説明]

「町田市地域公共交通会議」での検討状況について：資料3

事務局による説明（省略）

[意見等]

特になし

<その他>

特になし